

自然部会からのイベントのお知らせ

市史編さん講演会「ツバメのくらしから見た市川」



今年(平成23年)度夏に実施した市川市全域のツバメ営巣調査を踏まえ、講演会を行います。

日時：平成24年1月27日(金) 17時～(開場16時30分)

場所：市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

定員：220名(当日先着・申込不要)

講演内容：「人と共存するツバメ」唐沢孝一氏(市史編さん調査編集委員)

「市川のツバメ・今と昔」越川重治氏(県立船橋東高等学校教諭)

「ツバメは子どもに何を食べさせるか」山崎秀雄氏(市史編さん調査編集委員)

「市川のカエルたちー特にヒキガエルの産卵についてー」

市史編さん自然部会で、ヒキガエルの産卵状況の調査を実施しています。

市民の皆さんから確かな情報をいただけるように、カエルについての学習会を行ないます。

日時：2月12日(日) 10:00～12:00

場所：中央公民館 第1会議室

定員：40名(申込不要・当日先着)

持ち物：筆記用具

日時：2月19日(日) 10:00～12:00

場所：南行徳市民談話室 第3・4集会室

定員：40名(申込不要・当日先着)

持ち物：筆記用具

国府台

行って知って感じて 私達のまち いちかわ〔2〕

いちかわ しもうきこくふ お
市川に下総国府が置かれるよ
りも昔の古墳時代、日本各地に
は小さな国がたくさんありました。

なか ちから つぎつぎ くに せいふく とうごう やまとせいけん やまとせいけん はん
その中で力をつけて、次々と国を征服・統合していったのが、大和政権でした。大和政権から派遣さ
れたぐん しき ぐん しき
れた軍を指揮していたのが、ヤマトタケルです。ヤマトタケルはふね ぼうそうはんとう じょうりく とうほくせいふく
と向いました。国府台という地名は、下総国府が置かれた台地という意味であるという説が有力です
が、ヤマトタケルがとうほく かえ とちゆう いちかわ よ むさしのくに とうきょうと さいたまけん あた おもむ えど
川を渡ろうとした時に、コウノトリがあさせ おし でんせつ
川を渡ろうとした時に、コウノトリが浅瀬を教えたという伝説に由来するとの説もあります。

【もっとヤマトタケルを知ろう】しょうがくせい ちゅうがくせい すす ほん
小学生～中学生にお勧めのこども図書館で借りられる本だよ。

西野綾子／文・阿部肇／絵 『日本の神話10 ヤマトタケル』ひくまの出版 1989年11月

松田稔／文・柳沢秀紀／絵 『親子で楽しむ歴史と古典 ヤマトタケル』勉誠社 1996年5月

市川市映像文化センター(市史編さん事業担当)

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階

TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/shishihensan>